



## 『 肺がん検診を利用しましょう 』

---

厚生労働省が発表した人口動態統計によると、平成 29 年のがんによる死亡者数を臓器別に見ると、肺がんは男性の第 1 位、女性の第 2 位となっており、一貫して上昇を続けています。

肺がんの原因として代表的なものに喫煙があります。しかしながら、非喫煙者にも肺がんが発生することがあり、原因はすべて判明しているわけではありません。

肺がんの症状には咳や血痰などがありますが、初期には無症状の場合がほとんどです。早期発見のためには、検診や人間ドックなどで定期的にチェックすることが大切です。

しかしながら、肺がん検診の受診率は、平成 29 年の調査では男性で 51.0%、女性で 41.7%にとどまっています。肺がん検診の種類として、レントゲンによる検診が一般的ですが、CT 検診も行っております。海外や国内の研究で、CT 検診はレントゲン検診に比べて肺がん死亡率を減らすことが出来ると報告されています。

肺がん検診を利用して、早期発見、早期治療につなげましょう。

鹿児島厚生連病院

診療部 呼吸器外科部長

大塚 綱志